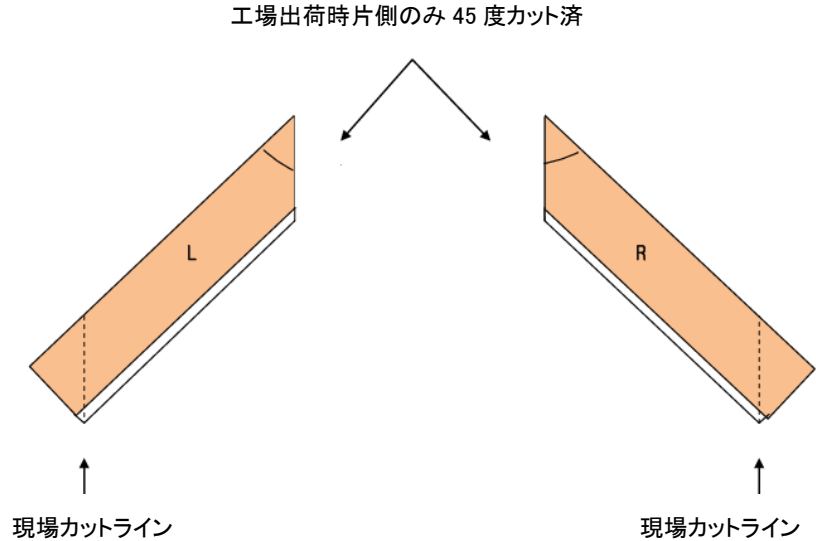


## 施工書 - フレンチヘリンボーン 〈直張り工法〉

- 本商品は、片側のみ 45 度の留め加工が行われております。反対側は現場で墨出しを行い、カットしながら施工して頂く商品のため、必ず微かなズレが生じます。調整しながらの施工を行って下さい。
- 本商品は、**短辺方向にサネがついておりません**。従って乾燥した環境下では短辺方向の合わせ目でも、隙が生じることがございます。
- 本商品は、基本的に片側現場カットをして頂く為、現場でのタッチアップ塗装が必要となります。その場合、必然的に工場出荷時の塗装の色とは異なりますので、ご了承頂けますようお願いいたします。



### 1) 保管・開梱

- 無垢フローリングは輸送中・保管中にも含水率が変化しますので事前に現場の湿度に馴染ませる必要があります。従って、無垢フローリングが現場に到着したら、結束は解かず開梱し段ボールから取り出して周囲の環境になじませて下さい。約 1 週間が理想ですが少なくとも 3~4 日間をお願いします。
- 保管は水がかかり易い場所・湿気の高い場所・直射日光の当たる場所を避け、横に水平に置いて下さい

### 2) 下地材

- 下地のモルタル・コンクリートは含水率が **10%以下**になるまで充分乾燥し、確認後に施工して下さい。
- 概ね約 1 ヶ月~2 ヶ月以上の養生期間が必要です(気候条件・環境により期間は異なります)。下地の乾燥が不十分な場合、直張り後にフローリングが水分を吸収し、膨張・突き上げの原因となる場合がございます。コンクリートが充分に乾燥した状態での施工をお願いします。
- 季節・環境・施工時点の気候条件によりコンクリート・モルタルの含水率は変化しますのでご注意ください。
- 施工前に、**不陸の調整**を必ず行って頂けますようお願いいたします。凸凹がある状態でフローリングを張り込みますと、施工後の割れ・床鳴りの原因となる場合がございます。

### 3) 接着剤

- 接着剤 : 1液型ウレタン系接着剤 (化学反応によって固化するタイプで、硬化後の収縮が無く、接着剤が要因となる床鳴りを防止します。)

弊社推奨品 ⇒ **コニシ KU928R**

**水性エマルジョン系接着剤・木工用白ボンドは絶対にご使用にならないで下さい。**(接着剤に含まれる水分が蒸発して硬化するタイプで、水分を無垢フローリングが吸収する為、“暴れ・床鳴り”の原因となります。)

- 下地のコンクリート・モルタルにクシ目ゴテを使い、万遍なく接着剤を塗布してから張り込んでください、その際にサネの中に接着剤が入らぬように気をつけて施工してください。又浮き上がり・床鳴り防止の為に、接着剤は多めに使用してください。
- 裏に直張り用のカルプを張る事でフローリングに若干の反りが出る場合があります。フローリングをスラブに接着後に適度な重しを乗せ、圧着させる様をお願いいたします。
- 施工時に、**靴の裏に付く接着剤、施工者様の手についた接着剤**には充分ご注意ください。付着した接着剤を剥がし、補修をするのには高度な技術が必要になります。又接着剤の種類によっては補修が不可能な場合もありますのでお

気を付け下さい。

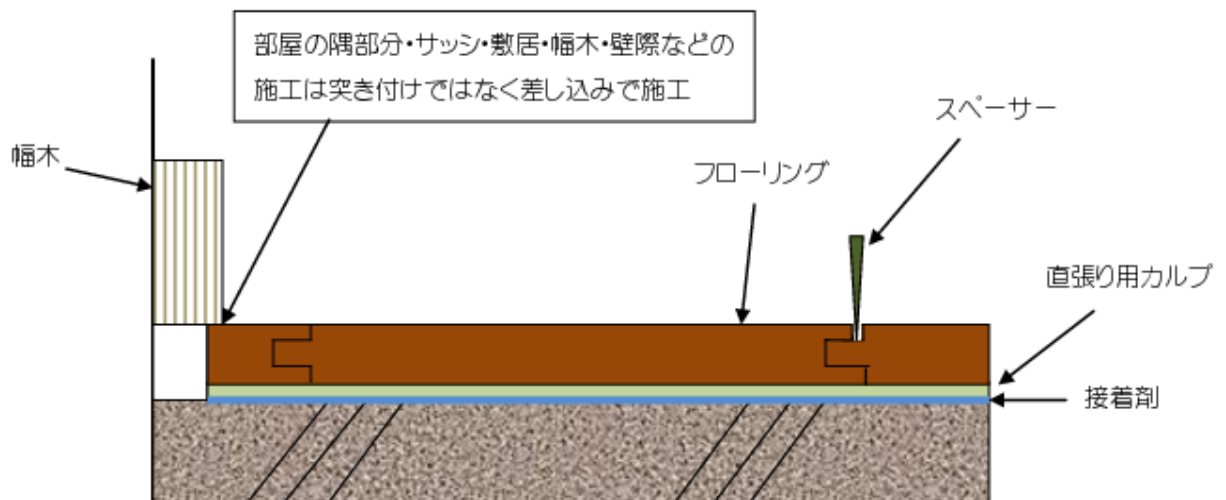
#### 4) 壁とフローリングのスペース

- 施工環境にもよりますが、特に湿度の高い地域・季節での施工の際には、フローリングのサネは強く叩きこまず、名刺1~2枚程度の隙間(0.2~0.3mm)を設けて施工して下さい。
- 壁・柱には密着させずに、必ず5~10mmほどのスペースを設け、そのスペースは幅木で隠して下さい。このスペースでフローリングの膨らみの逃げを作ります。

#### 5) 養生

- 施工後の養生シートは、通気性の良いものをご使用下さい。工事中のコンクリート・モルタルは完全には乾燥していません。通気性に劣る養生シートをお使いになりますと、下地からの湿気が逃げる場所を失います。特に夏場は、シートの中がサウナ状態になり、フローリングにスペースを持たせていても「膨張・突き上げ」の可能性が高くなります。充分ご注意ください。

#### 施工断面図

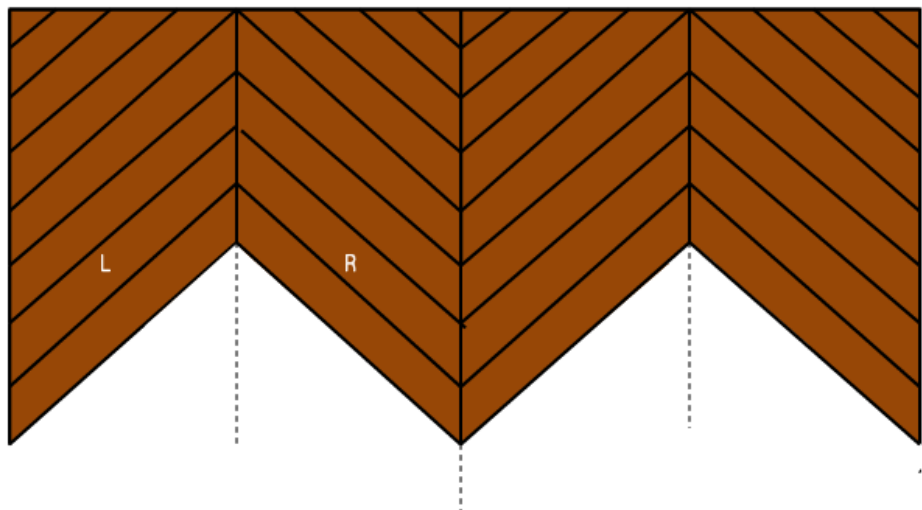


※必ず接着剤を使用して施工して下さい。

※接着剤は「**コニシ KU928R**」をご使用ください。(1液型ウレタン系)

#### 施工イメージ図

フレンチヘリンボーンには  
LとRがあります。



## OSMO 塗装/自然ワックス仕上げ無垢フローリング 養生時・美装時のご注意

### ◆弊社使用塗料、ワックスについて

弊社の浸透性塗料による塗装品は、OSMO 塗装又は自然ワックス仕上げが標準となっております。

#### 1) オスモカラーウッドワックス(内装用)、オスモカラーフロアクリアーラピッド(内装用)

国土交通省告示対象外商品の認定を受けており、F☆☆☆☆同等の基準を達成しております。

#### ■ オスモカラーウッドワックス #3111～#3166

内装用塗料であり、①耐久性 ②ワックス成分の追加の観点から、1 度目は塗料単品→2 度目は塗料: フロアクリアーラピッド#3262 を 1:1 で混ぜた塗料を作り、2 度塗りを行っています。

#### ■ オスモカラーフロアクリアーラピッド#3262

ワックス成分が含まれている床専用の内装用透明塗料であり、耐久性の観点から 2 度塗りをしております。

#### 2) セラリカコーティング・ピュア

国土交通省よりF☆☆☆☆認定を受けております。天然・合成を問わず揮発成分(溶剤・香料)、貴金属、界面活性剤を一切使用しない食品用植物成分 100%の天然ワックスです。

### ◆養生時のご注意

#### 1) 必ず養生シート(ボード)を、全面にしっかりとかぶせて下さい。

#### ■ 日焼けによる変色の原因を防止します。

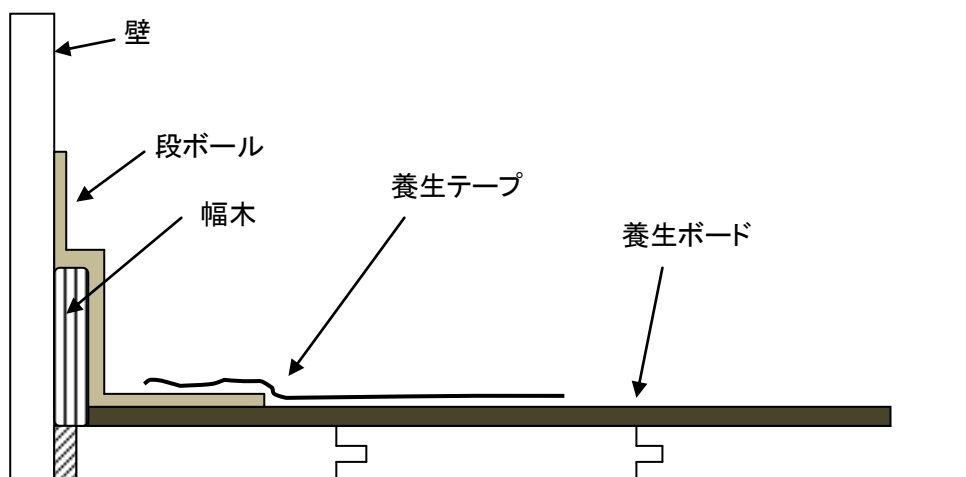
OSMO 塗装/自然ワックス仕上げの無垢フローリングは、塗装したオイルが空気中の酸素と反応し硬化が進んでいくという特徴があります。従って養生シートを壁面一杯に付けずに施工した場合、日焼けによる変色が起こり、他の場所との色差が付いてしまうケースが発生する場合があります。

【補修方法】 色の境目の 100 ㊦から 200 ㊦のところをサンディング( #180～240)し、同じ塗料で再塗装することで色差は目立たなくなります。

#### ■ 石膏ボードの細かな粉や埃の付着を防ぎます。

木目がはっきりしているタモやナラ、また色の濃いウォルナット、チーク、カリン等は、石膏ボードの細かな粉や埃が木目に入りやすく、一旦入ってしまうと目立つので充分ご注意下さい。

【補修方法】 深く入り込んでいなければ、エアーで吹き飛ばすことができます。エアーをつかっても取れない場合は、硬めの歯ブラシで粉や埃を掻きだし、その後 OSMO 塗料又は自然ワックスで再塗装してください。それでも取れない場合は、粉や埃をサンディングで削り取り、再塗装してください。



## 2) フローリングに直接養生テープを貼らないで下さい。

- テープの粘着力による塗料/ワックスのはがれ、色のはがれが起こります。  
養生シートを留める際に養生テープを直接フローリングに貼ってしまった場合、テープの粘着部分がフローリングに付着してしまうことがあります。特に夏場等気温が高い環境や古いテープを使用した場合、粘着部分の糊が溶けて、木目の中に入り込んでしまう事もあります。  
【補修方法】 木目の中に入り込んだテープの糊をサンディング(＃180～240)で取り除き、OSMO 塗料又は自然ワックスで再塗装して下さい。

〈写真〉 チーク 自然 WAX 仕上げ(1 回塗り)  
左) 養生テープを剥がした後  
右) 養生テープを貼っていない部分  
養生テープをはがした後は、自然ワックスも一緒にはがれています。



- 毛羽立ちが起こります。

材の種類によってもその差はありますが、タモ・ウォルナット・オーク・チークなどは特に毛羽立ちが発生しやすい樹種ですのでご注意ください。  
【補修方法】 毛羽立ちが出来たときは、女性用ストッキングにウエスを詰め込んだもの又は台所のスポンジの硬い面でこすると取り除くことができます。

**!!ご注意ください!!**

**強くこすり過ぎるとその部分だけ艶が出てしまいますので、優しく軽くこすって下さい。**

〈写真〉 ウォルナット OSMO 塗装仕上げ(2 回塗り)  
左) 養生テープを剥がした後  
右) 養生テープを貼っていない部分  
養生テープをはがした後は、材料の表面に毛羽立ちが起きています。



## ◆美装時のご注意

### 1) 水ぶきをしないで下さい。

水拭きをすると、毛羽立ちや膨張の原因になります。絶対にお止め下さい。

**!!ご注意ください!!**

**クリーニングのご担当者様に、「品質保持のため、水ぶきは必要ありません」とお伝えください。**

### 2) ワックスがけは不要です。

基本的に美装の際のワックスがけは不要ですが、お施主様より強いご希望があった場合は弊社指定品「セラリカコーティング・ピュア」をご使用下さい。一般市販の水性ワックス・樹脂ワックス・油性ワックスは、OSMO 塗料/自然ワックスの効果を著しく減少させる場合があります、一度使用してしまうと修復が難しくなります。絶対に使用しないで下さい。

樹脂ワックス・油性ワックス … フローリング表面に起こる白化現象の原因になります。

水性ワックス … 毛羽立ちや膨張の原因になります。

## 株式会社シーゲル 札幌ショールーム

〒064-0809 北海道札幌市中央区南 9 条西 17 丁目

TEL:011-522-0175

FAX : 011-522-0176

Email : sapporo@seegel.co.jp URL : www.seegel.co.jp

営業時間 : 9:00～18:00 (毎週水曜定休)